



会 議：国際標準化機構（ISO）船舶及び海洋技術専門委員会（TC 8）海事安全分科委員会（SC 1）、同救命作業部会（WG 1）、その他の安全設備作業部会（WG 2）、防火作業部会（WG 3）ロンドン会議

開催場所：英国規格協会（British Standard Institution）英国、ロンドン

会議期間：2019年5月20日～23日

参加者：リエゾンを含む17カ国／機関48名

海技研からの出席者：太田 進：国際連携センター長

宮崎恵子：知識・データシステム系 副系長（国際連携センター併任）

#### 概要：

ISO/TC 8/SC 1（以下、SC 1 と記す。）は、救命艇等の整備に関する公開仕様書（Publicly Available Specification: PAS）の投票結果（承認）を受け、その際に提出されたコメントの取扱いを決定した。

#### 主な貢献

**太田**は、救命設備に係る審議（WG 1）に参画するとともに、国際海事機関（IMO）船舶設備（SSE）小委員会の議長として、IMOにおける審議に係る事項について各種の助言を行った。

**宮崎**は、救命設備に係る審議（WG 1）に参画し、各規格の日本意見の反映に努めた。また、プロジェクトリーダー（PL）として規格改正案のスケジュールを確認した。



ISO/TC 8/SC 1 ロンドン会議の様子

#### 主な審議結果

全体会合は初日の午前中と最終日（四日目）に開催された。各 WG は、初日の午後、二日目及び三日目終日、及び四日目の朝に並行して開催された。海技研からの出席者が参加した会議の主な審議結果は以下の通りである。他の会議並びに審議結果の詳細については、他機関の報告を参照願いたい。



## 1 救命設備 (WG 1)

### 1.1 ISO/PAS 23678 救命艇、救助艇、進水装置及び離脱装置の整備実施者 (Maintenance, thorough examination, operational testing, overhaul and repair of lifeboats (including free-fall lifeboats) and rescue boats (including fast rescue boats), launching appliances and release gear Service Personnel) シリーズ

デンマークが PL を務める本規格シリーズは、世界海事機関 (IMO) の救命設備の整備者の認証に係る決議 (MSC.402(96)) に関係する、整備者の訓練内容等の規格である。この IMO の決議の要件が発効する 2020 年 1 月に間に合うよう、通常の規格よりも早く発行できる公開仕様書 (PAS) として作成を進めている。5 月 19 日に PAS 原案の投票 (DPAS 投票) が終了し、日本を含め承認が規定数に達しており、本会合では、この投票時に提出された各国コメントを審議した。日本及びドイツは、PAS の内容に MSC.402(96) に沿っていない点があることを指摘したが、デンマーク、英国ほか、ISO は IMO とは別との認識の下で策定を急いでおり、審議の結果、WG 1 は、一部の不具合は修正したものの、本規格シリーズの内容は基本的に変えないまま、今後仕上げを行い、PAS として発行することにした。

### 1.2 ISO 15738 ガス膨脹システム

宮崎が PL として作成した規格改正原案は、現在、最終国際規格原案 (FDIS) 投票中であることが報告された。

### 1.3 その他の ISO 規格の状況

「ISO/DIS 15734 水圧式離脱装置 (改訂)」に関しては、PL から、改訂の主な目的である使い捨て型のプラスチック構造内部の金属部分の腐食に対する試験方法について、これまでよりも厳しい、複数の温度における塩水噴霧試験の進捗状況が報告され、今後の進め方を審議した。

「ISO/PAS 21195 船上からの落水者の検知システム」及び「ISO/AWI/PAS 22757 客船の避難の際の人の位置特定システム」は、PL から規格原案の提出はなかったが、それぞれシステムの試験結果及び最新の技術動向を踏まえ、今後 WG 1 コンビナー (議長) とともに連携し開発していくことが報告された。

## 2 新規 ISO 規格の状況

極海コードに対応する救命設備の性能要件については、カナダの Godin Nathalie 氏が PL となり、個人用及びグループ用それぞれのサバイバルキットの規格を開発していくこととなり、PL が用意した新規作業項目提案 (NWIP) のための書類 (Form 4) と規格原案を確認した。次回会合にて審議を進める予定である。

## 3 次回会合

次回の WG 1 の中間会合は、2019 年 10 月 28 日～31 日に、カナダのセントジョンズで開催される予定である。次回の SC 1 の会合は、2020 年の 3 月～5 月頃に、オーストラリアで開催する方向で調整中である。